

かわにし

議会だより

第148号

2022

1.15



川西町議会H.P
QRコード

子育て支援金 10万円一括支給	2
政策提言に町長から回答	4
都市計画・米価対策など町政をたず	...	8

元気に育て

犬川地区 新生児お祝い事業
P6に関連記事

12月定例会

12月定例会のあらまし

12月定例会が、12月6日から21日までの16日間の会期で開催された。

第1日目に、指定管理者の指定2件、および令和3年度各会計補正予算4件を一括上程し、予算特別委員会に付託した。

第2、3日目に8人の議員が一般質問を行い、都市計画の見直しや米価対策、福祉灯油等について町政をただした。

第4日目以降、常任委員会、予算特別委員会分科会を開催し、各議案を審議した。

最終日に、付託した指定管理者の指定、補正予算6議案を原案通り可決した。追加提案された虚空蔵山西線変更請負契約等、子育て世帯等臨時特別支援事業、福祉灯油助成事業の追加支援の補正予算2件を可決し閉会した。

今定例会の傍聴者は23人だった。

子育て支援金10万円一括支給

福祉灯油追加や米価下落対策盛り込む

補正予算では、10万円の子育て支援金を一括で12月27日に支給する事業。灯油高騰に伴い、すでに申請の始まっている福祉灯油券(5000円)に、町独自で5000円分を上乗せして支給する事業。

県事業で、新生児に5万8000円を支給する出産支援給付金事

業、米価下落対策として種子代半額相当の1000円(10アール当たり)補助する稲作経営継続支援事業、原油高騰に伴い各学校・施設・スクールバス等の燃料費補助などの議案が審議された。

令和3年度当初予算で否決となった地域振興拠点整備計画の見直しを図られ、骨子が示

された。議会の旧庁舎跡地利活用調査特別委員会の報告を受けて、基本コンセプトを「にぎわいの丘」の創出し、駅前通りからのアクセス改善、中心市街地活性化の核としての整備、旧庁舎と中央公民館の一括解体などを盛り込んだ計画で、具体的に基本計画・実施計画の策定に入る。

令和3年度各会計補正予算		
会計別	歳入歳出予算	議決の内容
一般会計(第6号)	117億8126万円 (1億7268万円を追加補正)	全員賛成により可決
一般会計(第7号)	119億8122万円 (1億9995万円を追加補正)	全員賛成により可決
国民健康保険事業特別会計(第2号)	18億8367万円 (9238万円を追加補正)	全員賛成により可決
下水道事業特別会計(第3号)	5億2846万円 (385万円を追加補正)	全員賛成により可決
介護保険事業特別会計(第3号)	20億3476万円 (1598万円を追加補正)	全員賛成により可決

一般会計補正予算(第6号・第7号)の主な内容	
(歳出)	
稲作経営継続支援補助金(第6号)	1966万円
地域振興拠点施設整備事業 地域振興拠点施設基本・実務・解体設計委託料等(第6号)	2738万円
福祉灯油助成事業(第7号)	327万円
子育て世帯等臨時特別支援給付金(第7号)	1億9300万円
(歳入)	
町有施設整備事業債(過疎対策事業債) 地域振興拠点施設整備事業(第6号)	2500万円
子育て世帯等臨時特別支援事業費国庫補助金(第7号)	1億9668万円

質疑

総括質疑

は国の指針に従ったものの。

川西町職員の給与改定
高橋 輝行 議員

大塚西部基盤整備事業で、4億円の内示があるのに通常ベースで1億5000万円になったという。町長室で物事が決まるのか、経営会議が最高意思決定機関ではないのか。

高橋
人事院勧告による手当引き下げ案、議会運営委員会を4回開催した。結果提案しなかったが、経営会議で検討した内容ではなかったか。

町長
経営会議が最高意思決定機関である。

町長
議会議案は、経営会議で協議済みであったが、この度

町長
経営会議が最高意思決定機関である。

分科会質疑

時間外手当の増額理由。

総務課長
新庁舎への引っ越し作業や新型コロナウイルス感染症対策で、時間外手当が増額となった。

町長
今後働きやすい職場環境づくりへの取り組みにより、職員の健康保持に努めること。

総務課長
スムーズな予約体制の構築と冬期間の接種対策をとるよう。

町長
町民のマイナンバーカードの交付件数はどのくらいか。

総務課長
令和3年11月30日現在5257枚、人口の35.7%である。

町長
今後一層の普及を図ること。

総務課長
3回目コロナワクチン接種の対策はどうか。

健康子育て課長
ワクチン接種のための必要経費を精査し、既決予算内で支出項目の組み替え

町長
浴センターまどかの加温ボイラー補修工事、部品交換だけで済むのか。

産業振興課長
ボイラーを設置してから16年経過しているため、令和4年度から3カ年計画で施設修繕を図る。

町長
養給付費(国保事業)の現状は。

健康課長
被保険者は約3300人で減少傾向だが、今年度は高額医療が増加し前年比3.5%上昇した。

臨時会(人事)

11月30日の臨時会において、高橋輝行産業厚生常任委員会委員長

産業厚生常任委員会
委員長 寒河江 司
副委員長 島貫 偕
委員 高橋 輝行
伊藤 進
吉村 徹
遠藤 明子

予算特別委員会
委員長 高橋 輝行
副委員長 神村 建二
委員 議長を除く全員

議会運営委員会
委員長 伊藤 進
副委員長 高橋 輝行
委員 橋本 欣一
神村 建二
寒河江 司
井上 晃一

置賜広域病院企業団議会議員
議員 鈴木 幸廣
高橋 輝行
渡部 秀一

(太字が変更人事)



有効活用が図られつつあるマイナンバーカード

策 言

11月1日、9回目となる令和3年度の政策提言書が鈴木議長から原田町長に手交された。町民との意見交換会をもとに政策提言を行う予定であったが、2年続きのコロナ禍で開催できず、各常任委員会で協議し、政策提言としてまとめた。11月30日、原田町長から回答があった。

1 提言

安全・安心なまちづくり

- 1 危機管理体制と消防団員の充実を図ること。
- 2 自治会の実情に配慮した運営への支援体制を整えること。



町民の安心安全に＝春季消防演習

回答

近年、自然災害が頻発・激甚化する中、

本町では安全安心課を新設し、危機管理体制の充実を努めている。消防団の充実については、人口減少や少子高齢化に伴い十分な団員の確保が困難な実態にあり、消防団と共に今後の組織の在り方について検討を進めている。併せて、適切な報酬および装備品の充実についても計画的に対応していく。人口減少や高齢化により自治会を維持運営することが困難となる事例が生じている。引き続き地域の特性にあった支援の在り方を研究し対応していく。

2 提言

計画的な公共施設の管理と適正な財政運営

- 1 公共施設等総合管理計画の適正な執行に努めること
- 2 メディカルタウン整備の適正な財源確保と財政運営を行うこと
- 3 旧庁舎跡地活用のブランドデザインを早急に示すこと

回答

「川西町公共施設等総合管理計画」は本年

度中に計画を見直すため、現在各施設の老朽化の程度を示す健全度改善の緊急度を調査している。

今後、学校施設や町民総合体育館等の大規模改修を多く控えており、多額の財政負担が見込まれることから、国が示すトータルコストの縮減と負担の平準化を図るべく、役割を終えた施設の除却や施設の統合、適正規模で

の更新などを含め、公共施設の数・延べ床面積削減に向けた方向性を早急に示すとともに、効率的な維持修繕に努める。メディカルタウンの整備事業は、大型プロ



耐震対策の大規模改修計画＝町民総合体育館

ジェクト事業であるため、地方創生推進交付金をはじめとした国・県の交付金など、有利な財源について研究を進め、活用を検討する。また、地方債の償還見直しを含めた財政計画により、適切な財政運営を図っていく。旧庁舎跡地活用調査特別委員会の調査報告書を受け、川西町中心市街地活性化基本計画および川西町都市計画マスタープランの見直しを図り、ブランドデザインを再構築する取り組み。

3 提言

ポストコロナ時代における町内事業者に対する継続した支援

- 1 事業者が経営を持続できるように、効果的な経済対策を行うこと
- 2 深刻な打撃を受けている商店、飲食店等へのきめ細かな支援を行うこと

回答

事業全般に広く使える「川西町経営支援交付金」を創設するとともに、小規模事業者に対する「新・生活様式対応支援交付金」事業を実施している。

さらに、「川西町商工会緊急対策事業」で

町内事業者等へのきめ細かな支援をする。新型コロナウイルスは、新規感染者数が減少傾向だが、飲食業、旅行業、運輸業等への影響が未だ大きく残っている。加えて、令和3年産米の概算金減額の影響で、農業所得の

川西町テイクアウト・出前 現金割引応援キャンペーン

町内のキャンペーン参加店にて、テイクアウトまたは出前を利用された場合、ご利用金額に応じて以下の優待がそれぞれ設けられます。

- 税込1,500円以上の注文 ⇒ 500円の割引
- 税込3,000円以上の注文 ⇒ 1,000円の割引
- 税込5,000円以上の注文 ⇒ 2,000円の割引

※5,000円以上の注文による割引の上限は2,000円となります。【例】5,500円の合計の場合、お支払いは3,500円となります。

令和3年10月30日～12月31日

お会計時、利用申請書の記入をお願いいたします。

テイクアウトチラシ12月31日まで取り組まれた

4 提言

子育て世代への支援の充実

- 1 山形県の子育て支援策に賛同し、保護者負担が生じないよう町で対応すること。また、全額県で負担するよう働きかけること

回答

本事業は、山形県が子育て世代の負担軽減を目的として支援を行うものであり、本町としても事業の趣旨に則り取り組んでいる。

本年度は県費負担分のみ交付となるが、保護者負担の更なる軽減に向けた町負担による財政支援については、



クリスマスツリーを手づくり＝フレンドリープラザ

委員会 レポート

置農 同窓会役員と懇談 関係する委員会

11月9日、商工会長と懇談し、中心市街地のにぎわいづくりには置賜農高生も一役を担っていることを確認し、存続に向けて意見調整をした。



丹精込めて作りました = 大盛況まつ市での販売

11月26日、置賜農業高等学校同窓会役員との意見交換では、学校存続に向け、議会と同窓会とで期成同盟会を

足したいとの意見がでた。今後の進め方については、開校120年の歴史を振り返り、存続に向けて同窓会役員と協議をする予定である。

菅沼峠

主要地方道米沢飯豊線菅沼峠整備に関する委員会

11月8日、吉村県知事が来町された折、議員全員と期成同盟会役員で要望書を手交した。11月25日、小委員会のメンバーと飯豊町議会議員との意見交換を行い、県当局への要望活動を推進していくとの意見があり、両町議会議員全員との意見交換をすることと一致し



吉村知事を出迎え

た。その後飯豊町長との懇談を通して菅沼峠整備の機運を一層高めしていくこととした。

議会活性化

議会DXについて視察

議会活性化調査委員会



各団体代表者との意見交換会

10月27日、28日の両日、デジタル技術による業務改革について酒田市議会と舟形町議会を視察し、会議システムやタブレットの議会

での運用を調査した。11月16日、川西町内の9団体との意見交換会を開催して、議員の定数および報酬について会議を開き、定数削減や報酬が少ないのではとの意見がだされた。議場の国旗、町旗の掲揚については各議員の意見聴取を予定している。

中心市街地

中心市街地活性化の方向性を示す

中心市街地活性化委員会

11月17日、小委員会を開催し川西町中心市街地活性化基本計画アクションプランについて、調査研究をし、今後の活性化推進に生かしていくことが確認された。ワークショップを開催し、コンパクトシティとして取り組んでいきたい。町当局からは、地域振興拠点施設とし



行列でにぎわう地区のイベント

て、小松地区交流センター機能を中心に、多目的機能をもつ複合施設も考慮することが提案された。

メディカルタウン配置計画

総務文教常任委員会

11月1日、メディカルタウン整備重点区域内の現地視察調査を行い、配置計画等の説明を受け進捗状況などについて確認した。

商業区域の状況に合わせて、同様の拡張整備が行われることになる。商業区域北側には進出していただけの事業者が決定された。

各進捗状況

住宅区域北側に残されていた空き家は解体され、整地が進められた。また町道菊田桧線について、住宅区域内の路線拡張を行うというので、その準備が進んでいた。商業区域内の路線については、

計画に沿った造成工事が進められている。



進出企業区域が示された

豊かな暮らしを守り地域を作る

産業厚生常任委員会

10月15日、水道事業の現状調査と、食糧生産がなされる農地の大規模基盤整備の状況調査のため視察を行った。

おいしい水はどこから

町の水道水は県企業局から購入。米沢市の水窪ダム、綱木川ダムから笹野浄水場で処理、2市2町の配水施設に送水され、各家庭に送られている。町の令和2年度購入受水量は約207万7千tであった。



県企業局綱木川ダム

全員協議会

12月17日

川西町子育て世帯等臨時特別支援事業

新型コロナウイルス感染症が長期化するなか、子育て世帯への支援として、児童を養育している者の年収が960万円以上の世帯を除き、0歳から18歳以下の子どもに1人10万円を給付する事業の説明があった。

年収にかかわらず全員に支給すべきとの意見があった。

川西町福祉灯油助成事業に係る追加支援

原油価格の高騰による

表紙の写真



元気に育て

犬川地区では毎年、新生児祝い事業として、地区内に生まれた子どもが、健康で丈夫に、大きく育ってほしいと願い、しめ縄と絵本のプレゼントを行っている。

少子高齢化と言われて久しい中で、子どもは地域の宝。成長を願う事業を維持継続されていることは、子育てをする親にとって心強いものであると思う。豊かな人間形成を育み、未来に向かって大きく羽ばたいて行ってほしい。

り、町で特に影響を受ける低所得者に支援をするため、福祉灯油助成事業を拡充し、町単独で2回目の支援として1世帯当たり5000円の追加支援を行う説明を受けた。

川西町地域振興拠点施設整備基本計画

地域振興拠点施設の基本コンセプトが示され、「にぎわいの丘の創出」とし、小松地区交流センター機能を中心に供用機能、観光窓口機能、多目的機能などを取り込み、まちなかにぎわいづくりをしていく方向性を示した。(P17参照)

都市計画

都市計画道路の整備計画を問う

町長 一 都市計画道路網の在り方等の再検証を図る

島貫 先般、小松幼稚園前の道路（都市計画道路3・5・1号）について、スクールバスも曲がりづらいとの要望を受け、産業厚生常任委員会で現場確認のうえ、学校法人天竺学園理事長の話を伺った。朝夕、送り迎えの車で混雑するので早急に整備してほしいとの要望だったが、早く整備すべきではないか。

町長 都市計画路線は6路線あり、2路線は整備済み、2路線は進行中、残りの2路線は未着手である。小松幼稚園の保護者による、送迎時に車両が大変混雑する狭い箇所を確認している。都市計画道路網の在り方を再検証し、今後、都市計画マスタープランの見直しを行い、都市計画の再構築を図っていく。

島貫 小松地区の有志の要望を受けて。高年齢になって、足腰が弱って階段を登るのが大変になっている。手押し車を押して渡れるようにしてほしいとの声があり、役場庁舎が駅東に移った今こそ整備に取り組みべきもの

町長 駅東西区域を結び一体的なまちづくりを進めていくことは重要な観点であると認識している。駅南北の道路のアクセス機能の改善整備を行う必要性は十分理解している。

町長 駅前からの歩道については、歩道路面や道路側溝の傷みが見受けられることから、これまでも町の重要事業として県に対し要望しているが、引き続き要望していく。

その他 都市計画税の正しい使われ方。田町の踏切の歩道設置。現場担当者に名刺を配布するように等、質問した。



島貫 偕 議員



都市計画道路の早期整備を

町政をただす



8人の議員がするどく一般質問

定例会第2日目と3日目に一般質問が行われ、8人の議員が町政について質問しました。（発言順）に掲載します。

<p>島貫 偕 議員 (9ページ)</p> <ol style="list-style-type: none"> 都市計画道路の整備計画は JRの構内整備は 現場担当者の名刺は 	<p>遠藤 明子 議員 (14ページ)</p> <ol style="list-style-type: none"> 旧庁舎跡地利活用の進捗状況は 幼児施設の在り方と女性活躍社会は 観光客の渋滞緩和に向けて
<p>神村 建二 議員 (10ページ)</p> <ol style="list-style-type: none"> 公共施設等総合管理計画の適正な運営は 	<p>吉村 徹 議員 (15ページ)</p> <ol style="list-style-type: none"> 今年度産米価格減少に対する支援及び今後の対策は 原油高に対する取り組みは
<p>橋本 欣一 議員 (11ページ)</p> <ol style="list-style-type: none"> アフターコロナの町づくりは 原油高騰に対する支援は 	<p>高橋 輝行 議員 (16ページ)</p> <ol style="list-style-type: none"> 保育料無償化は 教育委員の任務と退職職員の再任用問題と外郭団体の町職員退職者の活用 小中学生の不登校、ひきこもりの現状は 公共施設の維持管理は 山形県知事選挙 第49回衆議院議員選挙
<p>渡部 秀一 議員 (12ページ)</p> <ol style="list-style-type: none"> これからのまちづくりは 炭素クレジットは 	
<p>寒河江 司 議員 (13ページ)</p> <ol style="list-style-type: none"> 期日前投票所は 学校運営は 	

①抜きの数字は掲載された質問。それ以外は誌面の都合により掲載できなかった。一般質問は、議会ホームページの録画中継によって見ることができます。(https://www.town.kawanishi.yamagata.jp)

まちの未来が見える(12月定例会の傍聴者は23人) 議会傍聴においでください 次回定例会は3月です

どなたでも傍聴できます(事前連絡は不要です。役場3階におこし下さい) 定例会本会議、予算特別委員会はNCV、インターネットで生中継。議会フェイスブックもご覧ください。



福祉

灯油高騰、福祉灯油の増額を

町長 一 追加支援を行う

町長 「川西町公共施設等総合管理計画」は平成28年3月に策定し、今後40年間の更新費用の見直しを基に、施設の維持管理・修繕、耐震化を含めた安全確保、施設の長寿命化、統合や廃止の推進方針などの基本方針を定め、進行管理を行ってきている。

橋本 世界的な原油高騰で灯油・ガソリンなどが近年になく高くなっている。コロナ禍の中、生活必需品も値上がりしており、この冬の生活状況は厳しいものとなっている。例年実施されている福祉灯油は、高齢・低所得家庭には大変喜ばれている。5000円の灯油券の支給だが、今年度は、現状を考慮して追加支援はできないか。

町長 通知はすでに10月中旬に送付している。1世帯当たり5000円の灯油券を配布している。さらに所得の低い世帯には町独自に1000円加算し

町長 昨年同期と比較して18ℓ当り580円ほど高く、暖房用として需要が高まる時期であり、追加支援を行いたい。アフターコロナのまちづくりは、人や社会の動きが以前とは変わってきている。町づくり、地域づくりも変わりつつある。この流れはコロナが終息しても続くものと思う。地域づくりでデジタル化が進んでいる。インターネット利用による地域間・世代間交流で地域づくりを進めた

町長 人々の意識の変化が見られ、デジタル技術の向上も図られ、全国的に身近なDXへの関心が高まっている。また、持続可能な社会の実現を目指すSDGsの理念の定着や、カーボンニュートラルの取り組みも強く求められている。かわにし未来ビジョン後期基本計画において、ICTを仕事や産業振興に生かしていくことを盛り込んでいる。基本計画

町長 「川西町公共施設等総合管理計画」は平成28年3月に策定し、今後40年間の更新費用の見直しを基に、施設の維持管理・修繕、耐震化を含めた安全確保、施設の長寿命化、統合や廃止の推進方針などの基本方針を定め、進行管理を行ってきている。

橋本 町内の経済状況をどう把握しているか。

町長 コロナ禍はまだまだ町内企業、事業者が暗い影を落している。町内事業者の事業継続を支援するた

町長 国のワクチン配布日程、数量が決まっていないためスケジュールは未定である。日程が決まり次第速やかに案内していく。



橋本欣一 議員



マレーシアコタキナバル州とデジタル交流会

一般質問

公共施設

公共施設の総合的計画を問う

町長 一 国の指針に基づき見直し作業を進めている

神村 本町の多くの公共施設が老朽化し、更新の時期を迎えている。一方、財政は大変厳しい状況にあり、その中で公共施設全体を把握し、財政負担の軽減や最も良い方法での管理が要求されている。公共施設の適正な管理運営はどうなっているか。

町長 「川西町公共施設等総合管理計画」は平成28年3月に策定し、今後40年間の更新費用の見直しを基に、施設の維持管理・修繕、耐震化を含めた安全確保、施設の長寿命化、統合や廃止の推進方針などの基本方針を定め、進行管理を行ってきている。

町長 施設の数が延べ面積に関する目標、更新・維持管理のトータルコストの縮減・平準化に関する目標を盛り込むことが望ましいとされていることから、施設の現状調査等を踏まえ、作業を進めている。

神村 公共施設の管理には住民の理解と協力が不可欠である。

町長 「川西町公共施設等総合管理計画」は、多くの公共施設で老朽化が進んでいる中で、各施設での必要性評価による長寿命化、統合、除却等の

町長 「川西町公共施設等総合管理計画」は、多くの公共施設で老朽化が進んでいる中で、各施設での必要性評価による長寿命化、統合、除却等の

町長 「川西町公共施設等総合管理計画」は、多くの公共施設で老朽化が進んでいる中で、各施設での必要性評価による長寿命化、統合、除却等の



神村建二 議員



公共施設の今後の維持管理は = 川西町交流館「あいばる」

一般質問

都市計画

町長「都市計画基礎調査」を検討している
 これからのまちづくりー新しい都市計画は



渡部秀一 議員

渡部 まちづくりの中
 で都市計画マスタ
 ープランがあり、昭
 和50年代のものを直
 しながら活用してい
 ると聞かされた。ま
 た、当時は日進月歩
 と技術の進歩が言わ
 れたときだが、現在
 は秒進分歩と言われ
 て久しい。現状に合
 った新しいマスター
 プランを作らないの
 か。

街地を「用途地域」に
 決定し、昭和56年
 には都市計画道路を
 57年には公共下水
 道を、62年には都
 市計画火葬場として
 斎場整備を決定し
 てきた。平成25年3
 月に現在の「都市計
 画マスタープラン」
 を策定した。将来の
 都市構造の方向とし
 て、駅周辺の中心市
 街地については、行
 政、文化、商業、居
 住等の拠点とし、一
 方国道287号

や国道113号の整備
 により市街地形成が
 期待される。公立置
 賜総合病院周辺を平
 成26年には都市計
 画区域に拡大した。
 美木地区や二井町地
 区は本年「用途地域」
 への変更を決定した。
 都市計画については、
 庁舎の駅東地区への
 移転や駅西地区の庁
 舎跡地の地域振興拠
 点施設整備等で都市
 機能の配置が変化し
 たこと、ま

渡部 「ふれあいの丘」
 構想の成果は上が
 っているか。また町
 民に認知されている
 か。

整備し、相互に補完
 しながら地域間交
 流を推進するもの
 である。それぞれの
 拠点としてフレ
 ンドリープラザ、ダ
 リヤ園、浴槽センタ
 ー、パークゴルフ
 場等を整備してい
 る。今後も機能充
 実に努め地域間交
 流の拠点としたい。

その他 炭素クレジット
 について質問した。



中心市街地整備が望まれる = 羽前小松駅前

選挙

期日前投票所について問う

選挙管理委員長 投票しやすい環境づくりを目指していく

寒河江 10月の衆議院総
 選挙で、期日前
 投票所を新庁舎と旧
 庁舎の2カ所に設置
 したが、新庁舎の投
 票所が1階会議室で
 狭く圧迫感があった
 のではないか。

コミュニティスク
 ールの実態は
寒河江 学校運営で
 コミュニティスク
 ールの導入実態は
 平成28年度に町
 内すべての小中
 学校に設置してい
 る。各学校のコミュ
 ニティスクールの活
 動が、コロナ禍で
 できない状態だが
 学校ごとの温度差
 があるのではない
 か。

体となり取り組んで
 いる。
寒河江 一過性の地域
 活動でなく、地域
 の人との融合や、
 郷土愛などに、い
 かにアプローチし
 ていくか。
寒河江 吉島小学校
 は、「NPO法人き
 らりよし」ネット
 ワークと業務委託
 契約を結び、学校
 運営協議会の活
 性化を図り、吉
 島地区が掲げる「
 誰一人取り残さな
 い」視点を総合学
 習「吉島学」を学
 び、地域の良さを
 知り、吉島地区の
 担い手となるよう
 人材を育成してい
 る。

寒河江 コミュニティ
 スクールの活動内
 容を、町民に知ら
 せているのか。
寒河江 各学校の
 優れた取り組みの
 紹介や、学校を核
 とした地域の特性
 を生かした特色あ
 るさまざまな活
 動を、町のホーム
 ページや町報等で
 町民の方にお知
 らせをしている。



今年も美味しい米ができました = 犬川小学校

一般質問

跡地利用

跡地活用特別委員会の報告書は反映されるか

町長ー可能な限り反映させ、にぎわい創出を図る



遠藤明子 議員



幼児施設でいきいきと活躍する先生たち

遠藤 旧庁舎跡地利用用の調査報告書を提出して約2カ月が経過した。報告書は反映されるか。

町長 解体、観光窓口機能の付加および中心市街地活性化に向けた取り組み等、調査報告書の内容を可能な限り反映させた。

遠藤 現在の進捗状況は。

町長 所管とする総務文芸常任委員会協議会に説明している。また、小松地区地域振興協議会理事会や自治会長連合会と意見交換会を行い、当初計画の通り令和7年度整備完了を目指す。

遠藤 アスベスト調査の結果と、今後の進め方は。

町長 旧役場は3割、中央公民館は8割アスベストが含まれていた。今後は、多くの町民にワークショップ等で十分な意見を聞き、基本設計の策定に繋げていく。

遠藤 町民と議論を重ね、合意形成の下で進めるべきである。

町長 幼児施設の在り方と女性活躍社会は

遠藤 今後の幼児施設の在り方は。

町長 保護者のニーズ調査では、0歳児から保育を希望する保護者が多い。今後、メデイカルタウン整備による子育て世代的増加を目指し、

幼児保育環境の維持に向け、充実を図ることが課題となるが、当面は現在の施設等を確保していく。

遠藤 外部園長採用により職員の活躍の場が閉ざされた感がある。仕事意欲の喪失につながる心配がある。女性が活躍できる環境や現状をどう考えるか。

町長 本年度、美郷、北斗の2幼稚園に、経営意識の醸成と危機管理体制の強化、

その他 ダリヤ園に臨時駐車場の対策について質問した。

米価 米価・転作物等の価格下落の影響は町長ー全体で4億7500万円の減となる

吉村 米の概算金が大幅な下落となり、また、転作物の枝豆、アスパラガス、キュウリ、ネギなどの野菜の価格についても下落するなど、農家の収入減収についてどのように考えるか。

町長 本町の影響額を試算したところ、全体で約4億7500万円の減となり、転作物物についても、本町の重点推進作物の枝豆については、市場価格が昨年と比較し約3割下落している。多くの農家において昨年と比較し減収となることが見込まれ、次期作への影響を危惧している。

吉村 基幹産業である農家収入減少による本町経済への影響は。

町長 農業収入の減少の影響はもとより、農業経営の圧迫、ひいては次期作に大きな影響をあたえかねないものであり、本町農業者等の支援ニーズの把握に努め、農業経営の維持発展に向けた対策を早急に講じていく。

吉村 緊急の農業経営者に向けた支援について、どのように取り組むのか。

町長 当面の運転資金の確保を支援するため、県と協調し、

吉村 本県の米政策推進会議で、来年度主食米の生産目安について話し合われ、民間在庫などを勘案して一定量を減産し調整を図るとあるが、どのような内容か。

町長 米政策推進会議では、県全体の「生産の目安」を、本

年度と比較し、県全体で1万6200トン、2709ヘクタールの転換が求められることになる。米価の維持を図るためには、「生産の目安」に沿った作付け転換を推進せざるを得ないと考えている。

吉村 令和4年度の作付けに向けた取

町長 転作物付が50パーセントに近づくと、主食用米以外の作物の本格化に取り組む、農家経営の安定化が図られる本町農業のあるべき姿を生産者、生産団体等と議論していく。



吉村 徹 議員



米価低迷 = 再生産可能な政策を

一般質問

子育て

保育料無償化は

町長 ー 来年度は実施に向け検討する



高橋輝行 議員

高橋 「子育てするなから山形県」の実現に向けて、知事は保育料無償化することを選挙で公約した。その公約に対する本町としての対応はどうなるのか。

町長 町民総合体育館の公共施設整備の維持管理は

高橋 町民総合体育館等はどのように対応されているか。

町長 町民総合体育館については、耐震性の不足と診断されており、令和4年度以降令和7年度まで大規模改修工事を計画している。

高橋 文部科学省では、不登校の小学生は約19万6千人で過去最高を更新と報道している。

町長 本町の不登校・ひきこもりの現状についてはどうか。

高橋 本町の現状は令和2年度は小学生が3人、中学生が13人であるが、本年度は

小学生が0人、中学生が17人と増加傾向である。児童生徒に対して、家族との面談、家庭訪問などを行い、学校には臨床心理士を配置し教育相談体制整備を図っている。

高橋 町長は、県町村会会長であるが、その行動で町政運営に支障をきたすような活動は

第49回衆議院議員総選挙の対応は

動はなかったか。また、町政運営（行財政関係）への好影響は期待できるのか。

町長 10月に行われた町選挙について、県町村会長として候補者の支持・支援等は行っていない。県内22の町村長それぞれが自身の考えで応援をされたものと思っている。町政運営に支障をきたすような行動はとっていない。選挙結果は3選挙区とも現職が再選されたので、国に対する要望案件を継続して訴え本町発展のためお力

高橋 町村会長として町政運営に支障をきたすような活動はなかったか。選挙結果を受け町政運営（行財政関係）への好影響は期待できるのか。

町長 選挙当時、本職は町村会の副会長の立場であった。特別な応援活動は行っていないので支障をきたすようなことは生じないと思っている。



R4~R7で大規模改修計画の町民総合体育館吊り天井

地用 跡利

議会の提案を反映

旧庁舎・中央公民館跡地利用の町方針

令和3年度川西町一般会計予算の否決を受けて、旧役場庁舎等跡地の利活用の方針が再検討され提案された。

12月17日に開かれた全員協議会において、旧庁舎等跡地の利活用についての見直し案が説明された。

見直し案では、基本コンセプトに於いての丘（フレンドリープラザ周辺）、ふれあいの丘（タリヤ園周辺）の結節点としてにぎわいの丘と位置づけ、中心商店街やJR小松駅を含めたエリアに地域振興拠点施設を整備し、集い、交流、賑わいの場の創出を図るとしている。

基本的機能は小松地区交流センター機能に生涯学習機能および観

議会の提案

- 小松地区交流センターの整備
●生涯学習活動の場の確保
●観光窓口機能
●複合化（社会福祉協議会・商工会など）
●旧庁舎・中央公民館との一体解体
●駅前通りからのアクセス

計画方針

- 小松地区交流センターの整備
●駅前通りからの進入路により中心街地のプラットホームとする。（集い交流、にぎわいの場の創出）
●観光窓口機能の付加・実現
●社会教育団体の活動の場



広報モニターから ひとこと ③ 上小松 佐藤 清美 さん

全町民がひとつになつて

今年度より議会広報モニターとして、意識を持ち議会を傍聴したり、議会だよりに対しての感想、意見を述べさせていただいております。

私は、川西町に生まれ、地域の皆様に支えられていた歩みが続いて

七十年。この町が大好きですし、支え育んでいただいていることに感謝しています。

これまで、川西町まちづくり委員、地域福祉計画策定委員、小松地区地域振興協議会委員としての活動や地元公民館活動等に関わり多くの事を学ばせていただきました。

「安心して生活できる環境づくり、まちづくり」を、各地区自治会、公民館、交流センター等を中核として、民意による、防災、防犯、環境衛生、福祉、社会教育等の活動をボランティア精神の下、自主的に行っていることに敬服しています。

これからも、町政を担う町長をはじめ職員、議会議員、全町民がひとつになつて、もっともっと魅力あるまち、誇れるまち、住みよいまちにしたいものです。

「置賜地域エネルギー自給自足推進協議会」
 11月22日、置賜地域の再生可能エネルギーを地域内で消費する仕組みづくりの推進に向け、地域のエネルギー関係者、有識者、行政等が連携する協議会が設立され、エネルギーの地産地消に向けた事業展開の検討が行われた。



おきたま新電力のソーラーパネル

現状(抜粋) 置賜地域は多様な再生エネルギーがみ出されているが、「地消」の仕組みが構築されてないため、ほとん

どの地産エネルギーは外部流出している。
課題(抜粋) これまでは、置賜地域連携の具体的な議論がされてこなかった。再生エネルギー消費は、広域連携の仕組みづくりにより実現の可能性が高くなる。置賜近隣市町が連携協力し取り組むこ

とが必要である。
おきたま新電力株式会社設立
 現状と課題をふまえ、置賜地域エネルギー自給自足協議会を構成する発電事業者によって、令和3年8月に「おきたま新電力株式会社」が設立された。

電力の自給自足を



かわにし未来ビジョン(第5次総合計画)後期基本計画では、再生可能エネルギーの活用が計画されている。本町では2年12月に「ゼロカーボンシティ宣言」を行い、脱炭素社会の形成に取り組む。

「再生可能エネルギーの活用」では、エネルギーの地産地消の「消費」に関して、置賜自給圏からの「電力の自給自足の推進案」を採用し、長井市と一緒に取り組む。

いいね！かわにし 街かどインタビュー

きまぐれ Book cafe
 フレンドリープラザ内

代表 加藤 美紀さん
 Book Book おきたまのメンバー8人で、令和3年の10月から営業しています。土曜日・日曜日の営業で不定期ですが、SNSでご確認ください。イベントやワークショップ、読書会などみなさんが集まる機会の癒しにカフェをご利用ください。

読書好きが集まり、自分たちが楽しいことをやろうと、カフェを立ち上げました。

いろいろなBookイベントをきっかけに、フレンドリープラザを訪れた方々の交流の輪が広がり、読書に親しんでもらえたらうれしいです。

読書の感想など聞いたら最高ですね！
 ぜひ、お立ち寄りください。



荒木 康男さん(米沢市)
 川西町では自分好みの音楽イベントやブックブックなどがあり、度々参加しています。アルプスホルンのコンサートに来ました。小規模ほど身近に感じられてとても楽しめました。



高瀬 尚美さん(中小松)
 コロナで閉じこもってばかりだったので早く終息してほしいです。リフレッシュしたいですね。
 寅年生まれなので年女です。いい年にしたいと思っています。



情野由布子さん(中郡) 衣央里ちゃん(2歳)
来年の抱負は？
 子どもが元気に育ちますように！
町への要望は？
 子育て支援センターに子ども用おもちゃがほしい。



板垣 円佳さん(大塚) 夏蓮ちゃん(2歳)
来年の抱負は？
 家族が健康で暮らせますように！
町への要望は？
 子どもと一緒に参加できるイベントがたくさんあればいい。



古川孝・史子さん夫婦
 フレンドリープラザ付属演劇学校朗読音楽部(クラブ)に来ました。様々な活動で忙しくしています。色々な方とのふれ合いから芸を磨いています。寅年、勢いをつけて頑張ります。



美しいやまがた アルプスホルンクラブ
 アルプスホルンのミニコンサートに奏者として来ています。長く重い楽器で音量も大きいため、演奏する場がなかなかありません。演奏する場がなかなかありません。ホルンも手作りです。一からやっています。多くの方と一緒に楽しみたいですね。メンバー募集中です。



請願

請願第6号
新型コロナウイルス感染症の取り扱いを指定感染症二類相当から

不採択
 理由 コロナ感染症の現状や治療薬の開発が進まない現状では同意できない。
賛成少数により否決
 (反対10)

指定

川西町斎場
 公の名称
指定管理者 川西葬祭社
指定の期間 令和4年4月1日から令和7年3月31日まで
指定管理料 4600万円

森のマルシェ
 公の名称
指定管理者 かわにし森のマルシェ株式会社
指定の期間 令和4年4月1日から令和7年3月31日まで
指定管理料 3860万円

12月定例会の議決状況

議会基本条例の規定により賛否の分かれたもののみ、各議員の議案に対する賛否状況を報告する。

議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
議員名	井上 晃一	遠藤 明子	渡部 秀一	寒河江 司	吉村 徹	島貫 偕	伊藤 進	神村 建二	橋本 欣一	淀 秀夫	高橋 輝行	欠 員	伊藤 寿郎	鈴木 幸廣
請願第6号	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○		-	

町提出案件8件 ○は賛成、×は反対、-は欠席。議長は賛否に加わらない。上記以外は出席者全員賛成。

プロフィール

東 沢

大木直美さん(おおき なおみ)

川西町大字大舟
家族構成は、夫、子ども1人
出身地は、埼玉県

地域とのつながりを大切に

出会のきっかけは？

直美さん…米沢市に妹夫婦がいて、妹の所に何回か遊びに来た時、介護老人施設(機能回復に特化したデイサービス)を新設する話を聞き、誘われて立ち上げ段階から関わることになりました。介護職の経験もありませんでした。資格を取りそのまま就職。現在は、所長として頑張っています。その時に紹介されたのがきっかけです。
裕輔さん(夫)…町の2分の3成人式の実行委員の友人から紹介。
平成30年7月に結婚、令和元年7月に第一子が生まれました。置賜農業高で果樹担当の実習教諭として働いています。

川西町の印象は？

直美さん…地域のみなさんにやさしく迎え入



娘の成長を願って

れてもらっています。できる限り地区行事に参加し、多くの人と交流を楽しんでいます。

地域に子どもが少なく、若者の出会いの場も少ないように感じます。

休日はどう過ごされていますか？

裕輔さん…地区行事に参加する他、夏は家族でキャンプをしたりして楽しんでいます。

家事・育児はどう？

直美さん…共稼ぎなので、平日は、隣の義父

母に娘を預かってもらっています。

春から幼稚園に入園する予定なので、義父母も多少ゆっくりできると思っています。

町に望むことは？

直美さん…子どもや子育て世代が集まって遊べる場所がほしいです。

裕輔さん…冬期間の駅から置賜農業高までの通学路について、空き

家の前の歩道除雪がされてほしいので、除雪

してほしい。

編集のあとで

▼新年明けましておめでとございます。本年もよろしくお願ひ申し上げます▼今回はより厳しい日程での編集作業となった▼議会だよりを読んでいただけよう、解りやすく表現する事を考えながら、短期間で書くことに慣れてきたとはいえ、編集日程が短いと、表現に四苦八苦。去年今年心響いた

文言よ

(進)

- 発行責任者 鈴木 幸廣
- 委員長 橋本 欣一
- 副委員長 遠藤 明子
- 委員 伊藤 進
- 同 伊藤 寿郎
- 同 寒河江 司
- 同 井上 晃一
- アドバイザー(文章) 佐々木賢一
- アドバイザー(写真) 山田 順一
- 齋藤 文夫